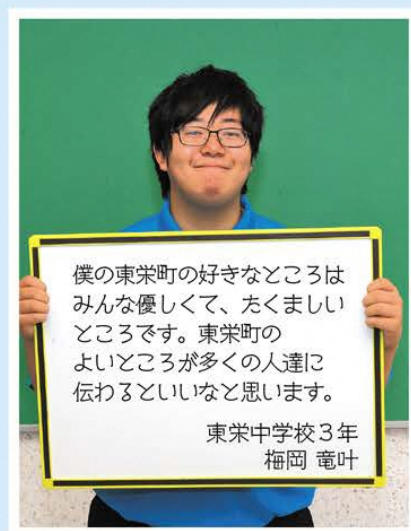
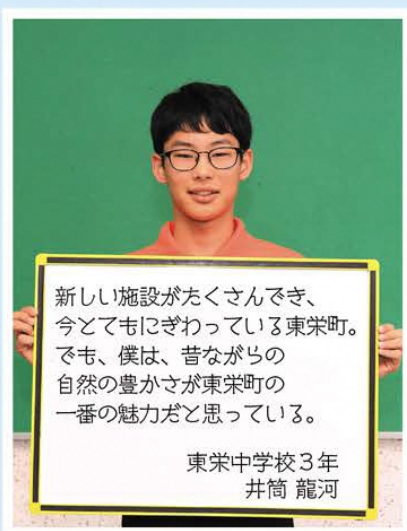
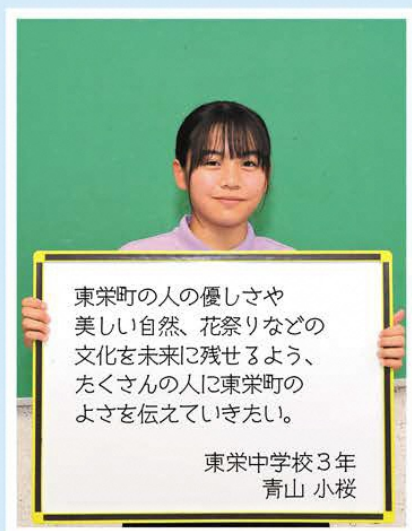


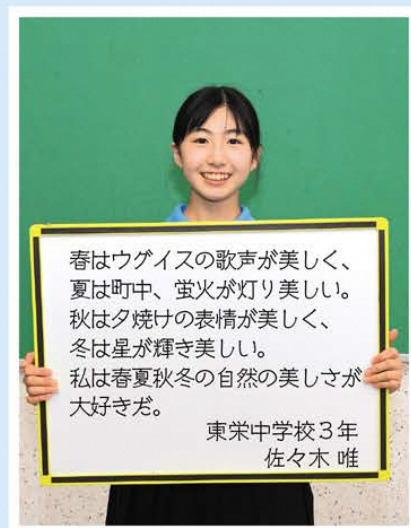
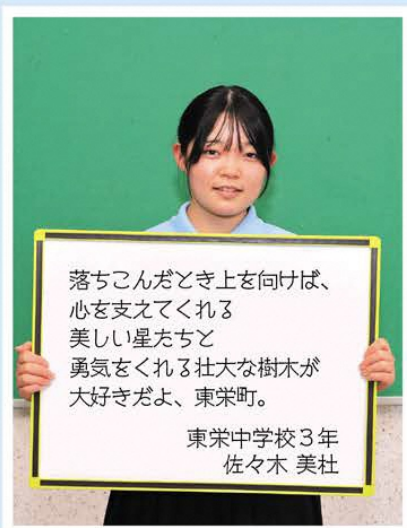
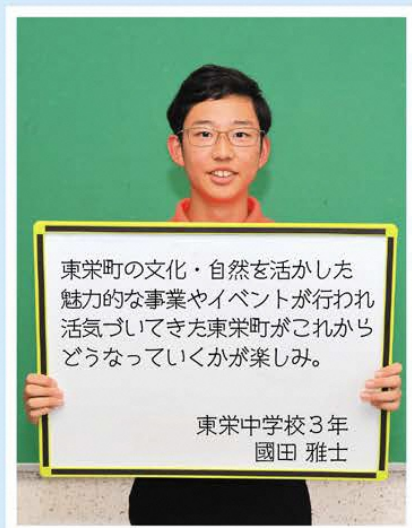


議会だより

とうえい



わたしの町とうえい 9 (東栄中学校3年生のみなさん)



もくじ

6月定例会・臨時会概要報告	P 2-4
本会議討論	P 4
一般質問ダイジェスト	P 5-11
議員で研修・視察を行いました／議会活動報告／9月定例会の予定 ...	P 12

6月 定例会

会期：6月7日から6月15日までの9日間
上程された案件は、条例一部改正1件、附帯決議1件、計画変更2件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算3件、同意案4件、報告4件、工事請負契約1件、工事請負契約変更1件、承認2件
審議された案件は、**全会一致**または**賛成多数**で**原案のとおり可決**

令和5年度 6月補正予算

【一般会計】

- 役場庁舎の老朽化対策〔トイレ改修他〕…………… 850万円
- 防犯対策設備・機器の購入等への補助…………… 199万8千円
- 旧東栄小学校校舎等解体工事設計業務委託…………… 539万円
- 带状疱疹ワクチン接種費助成金…………… 166万円
- プレミアム付商品券事業…………… 2,823万5千円
- 中学校自動火災報知設備取替費…………… 189万2千円
- 町道東栄中学校線の改良工事…………… 1,000万円

【簡易水道特別会計】

- 減圧弁の部品交換・水管橋付替工事他…………… 549万2千円

5月1日 臨時会 審議結果

全員賛成で原案のとおり可決した案件

- 一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認
- 町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認
- 監査委員の選任について

定例会 審議結果

全員賛成で原案のとおり可決した案件

- 一般会計補正予算(第2号)の専決処分の承認
- 東栄町過疎地域持続的発展計画の変更
- 東栄町辺地総合整備計画の変更
- 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 各財産区管理会委員の選任
- 固定資産評価審査委員会委員の選任
- 中設楽浄水場前処理ろ過設備設置工事請負契約の変更
- 東栄浄化センター電気設備更新工事請負契約
- 表彰審査委員会委員の選任

賛否が分かれた案件 (○=賛成 ×=反対)

(議長は採決に加わらない)〈議席順〉

議案	岡田 浩二	佐々木 一也	浅尾 もと子	櫻井 孝憲	伊藤 真千子	西谷 賢治	村本 敏美
東栄町長等の給与の特例に関する条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○
一般会計補正予算(第3号)	○	×	×	○	○	×	○
一般会計補正予算(第3号)に対する附帯決議(議員発議)	○	×	×	○	○	○	○
副町長の選任	○	○	×	○	○	○	○
農業委員会委員の任命につき同意を求めること	×	○	×	○	○	○	○

6月定例会

本会議(初日)

株式会社とうえいの経営状況

回答を差し控える。

常任委員会

東栄町長等の給与の特例に関する条例の一部改正

問 機械故障のため臨時休業が続いており、大規模改修の必要性があると考

える。町が、町民に対し、経営上も管理上も温泉の抜本的な対策を早急に明らかにするべきではないか。

答 株式会社とうえいと経済課で、長期修繕計画に基づいて、計画的な修繕を行っているが、経年劣化等で営業を中止せざるを得ないときがある。

抜本的な改修につながる財源を確保するためにも、売上げを伸ばしたうえで修繕計画を見直しながら、町民の理解を得ていきたい。

問 厳しい経営状況の中で、賞与を増額する理由を伺う。

答 賞与を含む給与については、株主総会で協議・決定していることなので、

一般会計補正予算第3号

問 带状疱疹ワクチン接種補助は、来年度以降も継続する予定か伺う。

答 本年度の事業成果、国の方針、周辺自治体の状況を踏まえて検討する。

問 带状疱疹ワクチン接種補助のように、その他の任意予防接種ワクチンなどについても補助をするか伺う。

答 法律上の義務のない任意予防接種ワクチンは、慎重に対応する必要がある。

問 保育園の園長業務を、個人事業主として委託した理由を伺う。

答 昨年度までの雇用形態での園長業務の継続は、雇用形態の見直しに伴う定年延長により、給与が係長級まで下がる。

管理職の人材不足もあり、任用を継続するため、やむなく個人への業務委託とした。

問 業務委託の形態では、園児等に事故があった場合、その責任は、個人で

ある園長自身が負うことになるかと考えるが認識を伺う。

答 責任は首長である町長にある。運営等については問題が起きないようにする。

問 旧東栄小学校解体後、跡地利用の方法が決まっているか伺う。

答 跡地を含め、本郷万場地区全体として、今後の土地利用計画を考えていく。

問 旧東栄小学校のアスベストの含有調査の結果を伺う。併せて、解体に係る費用について伺う。

答 天井などの建材の一部にアスベストを含有するとの結果が出ているが、直ちに飛散することはない。解体費用については算出されていない。

問 プレミアム付商品券事業に係る経費が、全体の16%から43%と、以前に比べて大幅に増額している理由を伺う。

答 多くの人が購入できるよう、紙商品券とデジタル商品券を重複して購入

できないようにするための費用、不正防止のための本人確認をするためのシステム費用、クレジットカード使用などのデジタルシステムの運用のための費用などにより増額している。

問 観光施設整備委託料は、西園目地内のログハウスの維持であるが、誰にどのように委託するのか伺う。

答 委託先はシルバー人材センターを検討している。委託内容は、年2回、ログハウス周辺の草刈りや庭木の剪定を考えている。

問 公園費38万5千円の修繕料は、どこを修繕するのか伺う。

答 浄化センター内のトイレの修繕を考えている。

本会議(最終日)

一般会計補正予算第3号に対する附帯決議

問 園長業務委託の附帯決議として「人事や処遇において法的また制度的に充分な検討を行うように努められたい」との意見を附

するとしているが、園長業務の委託について、どんな問題を認識しているから検討を求めたいのか認識を伺う。

答 保育園業務で事故やトラブルがあった場合の責任の所在や、園長を保護する保険制度等について考えておく必要がある、責任関係の明確化や、各種保険制度の調査や適用など、個別具体的に検討していただきたいと考える。



討論

東栄町長等の給与の特例に関する条例の一部改正

賛成6名・反対1名

反対 浅尾もと子 議員

町長ら三役の給与を、令和5年7月分～翌年3月分

まで5%減額し、職員の研修費（人事組織改善・研修業務委託料133万円）にあてる議案である。

職員のために必要な予算は、当初予算で一般財源から支出するべきであり、町長らが自らの給料を減額して職員に研修の機会を与える必要はない。

賛成 櫻井 孝憲 議員

町村に関する調べを見ても、物価高騰もあり給与は現状で適正と考えるが、三役の給与を削減することに關しては、削減額を人事組織分析と研修業務等人事管理体制の継承と職員の資質の向上を図る研修に充て、パフォーマンスではなく身を削ることで東栄町の現況及び来年の人事財政状況を勘案した実効性のある改正と思われる。



一般会計補正予算第3号

賛成4名・反対3名

反対 浅尾もと子 議員

- ①商品券事業2、823万円の43%が観光協会への諸経費となる。経費を削減し、全町民に効果が及ぶ方法を検討するべきだ。
- ②町は保育園の園長を業務委託した。民間事業者たる園長の裁量で保育が行われ、その指揮命令に町の保育士が従うことは問題だ。園児への賠償責任、園長の業務災害への補償も曖昧だ。職員への重大な不利益変更であり撤回を求める。

反対 佐々木一也 議員

国の示す委託の手引きによると、町から園長に対して指示を出すことはできない。また、「東栄町保育所の管理運営に関する規則」に、町長の園長任命権や、園長の職員への指揮監督などが規定されており、仮に業務

委託をするとなれば、予算計上と同時に、規則等の改正をし、指示に係る部分の変更・削除等も必要と考える。

賛成 岡田 浩一 議員

国・県の交付金等でプレミアム付商品券事業の予算執行においては問題があるとして反対があったが、町内の経済効果が大きく、コロナ禍で疲弊した地域経済や住民生活を支援するために必要な対策である。また、業務委託の合理性は関係機関から問題ないと確認したとのことであるのでこの補正予算案そのものに瑕疵があるとは言えない。

賛成 村本 敏美 議員

本補正予算には地方創生臨時交付金を充てたプレミアム付商品券の発行事業、予防接種費等組み入れられている。予算を執行するためにも本補正予算には賛成する。

一般会計補正予算第3号に対する附帯決議

賛成5名・反対2名

反対 浅尾もと子 議員

町が園長を業務委託にしたことは許されず、議会は予算を否決すべきだった。附帯決議の提案者には、業務委託を改めさせる意図はない。決議には法的拘束力もない。可決しても、町の改善の約束を得られるものではなく、子どもの安心安全を担う園長の委託化を可決した議会の責任を減ずるものではない。パフォーマンスには反対する。

賛成 櫻井 孝憲 議員

「人事や処遇に置いて、法的また制度的に十分な検討を行うように努められたい」となっているが、業務委託者である園長との契約について、事故が起きた場合に業務委託者が一方的に不利益な状況にならないよう急に策定することを望む。



伊藤真千子
議員



おいでん家活動支援

問 おいでん家が、10年目に向かって動き出すためには、支援員が必要不可欠である。今後の支援員確保計画を伺う。

答 福祉課長
おいでん家は、各地域に根付いていることが根底にあるため、地域から人材が出てくるのが望ましいと考える。現在、支援員や職員とも積極的に声掛けを行っている。

問 男性の支援員の方も見えるが、地区名と人数、男性支援員の確保方法を伺う。

答 福祉課長
この3年間は、コロナ感染拡大で控えていたが、緩和されてきたので訪問したい。

問 今後、副町長・教育長・職員が参加

答 福祉課長
利用者の体調や都合、状況等に理解のある支援者が対応する必要がある。委託の予定はない。

問 町長は、おいでん家に参加すべきと思うが、町長の考えを伺う。

答 福祉課長
過去には、3年目以下の職員が訪問していた。今後検討したい。

問 おいでん家が、マ

答 福祉課長
おいでん家が、マ

問 地域事業要望について

答 建設課長
昨年31件、内建設課関係は25件。現地確認を行い危険度の高い箇所から予算内で実施しているが、現場の状況、また過去の要望もあり順位付けは難しい。

し住民との意見・情報交換は必要と思うが、町長の考えを伺う。

問 過去には、3年目以下の職員が訪問していた。今後検討したい。

答 福祉課長
おいでん家が、マ

問 おいでん家が、マ

答 福祉課長
おいでん家の運営がマ

問 地域事業要望について

答 建設課長
昨年31件、内建設課関係は25件。現地確認を行い危険度の高い箇所から予算内で実施しているが、現場の状況、また過去の要望もあり順位付けは難しい。

問 住民が知りたいのは、いつ実施するのか。

答 建設課長
回答は、結果や状況を対応書として渡している。

問 新庁舎建設について

答 総務課長
平成23年に耐久性と地震に対する危険性を指摘されているので建設は必要と考えているが、積立金が、現在約3億円であり財源不足である。今後、第7次総合計画に盛り込んでいきたい。

問 新庁舎建設試算は、

答 総務課長
試算したことはない。

問 現在の庁舎は、耐

答 総務課長
今のところ計画はない。



▲中設案地区おいでん家

新庁舎建設について

問 現庁舎は、耐震が不十分である。新庁舎建設を考えているのか伺う。

答 総務課長
平成23年に耐久性と地震に対する危険性を指摘されているので建設は必要と考えているが、積立金が、現在約3億円であり財源不足である。今後、第7次総合計画に盛り込んでいきたい。

問 新庁舎建設試算は、

答 総務課長
試算したことはない。

問 現在の庁舎は、耐

答 総務課長
今のところ計画はない。

問 新庁舎建設について

答 総務課長
平成23年に耐久性と地震に対する危険性を指摘されているので建設は必要と考えているが、積立金が、現在約3億円であり財源不足である。今後、第7次総合計画に盛り込んでいきたい。

問 新庁舎建設試算は、

答 総務課長
試算したことはない。

問 現在の庁舎は、耐

答 総務課長
今のところ計画はない。

問 新庁舎建設について

答 総務課長
平成23年に耐久性と地震に対する危険性を指摘されているので建設は必要と考えているが、積立金が、現在約3億円であり財源不足である。今後、第7次総合計画に盛り込んでいきたい。

問 新庁舎建設試算は、

答 総務課長
試算したことはない。



櫻井 孝憲
議員



とうえい温泉の中期経営計画と

今後の対策について

問

とうえい温泉は全国でも数少ない療養泉であるが、泉質の高さに匹敵する集客力を獲得できないことは大変残念。

令和2年度から役員を1名増員し、役員報酬が増加した。

収益増加に繋がるよう集客力を高め、収支を安定させるよう経営を改善していく必要がある。

役員報酬が近年増加し、令和3年度には一千万円近く支出されているが、赤字経営でその報酬額は適正と言えるか。

また、緊急修繕で臨時休業が増えているが、修繕費用の推移はどの様になっているか。

答

経済課長

経営力強化を図るため

問

従業員が有給休暇を取れないことを町は把握しているか。

故障による臨時休業日数は、令和3、4年度は計38日で、部品調達に日数がかかる等の理由により臨時休業日が増えた。修繕費の実績は令和2年度16、456千円、3年度24、237千円、4年度は決算見込額として、22、225千円となっている。今後は長期的な修繕を実施し、臨時休業日数を減らしたい。

答

経済課長

土日祝日出勤、シフト制という勤務体制等を理由に、人材が集まりにくく慢性的な人手不足であるため、有給休暇が取りづらい状況になっている。

問

変則的な勤務体制に対して、賃金水準を上げて人材を確保することが必須と思われるが、役員報酬を削つてでも従業員の給与の充足を図らないのか。

答

経済課長

報酬給与については施設の指定管理者である株式会社とうえいの役員会、株主総会等で協議決定しているため、回答は差し控える。

問

東栄町公共施設等総合管理計画個別計画（令和3年3月）には、期間内対策費用（6年間）に約5億円の予算

答

経済課長

が想定されているが、とうえい温泉の修繕の計画はあるのか。

施設の大規模修繕、リニューアル等の計画はない。多額の費用を必要とする上に、長期間営業出来なくなるため、6月と3月のメンテナンス休業と水曜定休日の中で計画的に修繕を行い、突発的な臨時休業とならないよう最善を尽くしていく。

問

株式会社とうえいの中期計画には、

町内の誰もが毎日でもとうえい温泉に通えるような価格設定、支払い方法のキャッシュレス化やポイント制導入などを含む、具体的な計画等はあるのか。また、町は今後、とうえい温泉にどう関わっていくのか。

答

経済課長

3箇年度分の指定管理

者の指定に係る事業計画書、収支計画書があり、単年度では株主総会時に提出される営業計画と収支予算計画がある。

町が今後とうえい温泉をどうしていくのかという長期観点での計画が必要で、収益の改善を図る集客のきっかけづくりとして、当課、株式会社とうえいだけでなく、関係団体等を交えたプロジェクトチーム等の仕組みづくりを検討していく必要がある。





佐々木一也
議員



防災士の今後の取り組み

問 平成30年度から開始した防災士資格

取得補助事業により、現在までに27人の町民が防災士の資格を取得した。この防災士と町は、どのような関係を築いているか。

答 総務課長

防災訓練の内容を検討する際や、防災ハザードマップの更新時に意見を伺った。また、各地区や各種団体から、防災講話の依頼があった場合、講師をお願いしている。

答 総務課長

コロナウィルス感染症の影響で組織としての防災士の活動ができなかったが、今後は、町や自主防災会などと連携し、防災士の活動を進めていきたい。

問

町が防災士に依頼・期待することにはどんなことがあるか。

答 総務課長

平常時は、防災講話や防災まち歩き、町や自主防災会への助言、防災訓練への参画など。

災害時は、被害拡大を最小限にとどめる地域防災力の担い手としての役割を期待する。もちろん防災士ひとりにその負担を押し付けるのではなく、

自主防災会や住民と協力し合って救出救助活動から避難所の開設などに取り組んでいただきたい。

問 防災士という資格があることや、防災士が町内にいることを周知しているか。

答 総務課長

自主防災会連絡会の場で、各地区所在の防災士について案内するとともに、防災士資格取得補助事業についても案内している。

問

防災士の知識・技能の保持及び向上のため、補助や支援などをする考えはあるか。

答 総務課長

防災士個人ではなく、防災士の活動に対して補助や支援を検討していきたい。



大規模災害に

対応するための取り組み

問 地震などの大規模災害が発生した場合、速やかに災害対策本部を設置し、災害の規模や被害の状況を収集し、的確に救護や避難支援を開始する必要があるため、それに対応するため、地域防災計画等がある。

答 総務課長

この計画で、実際に具体的な行動がとれるか検証をし、修正を加えて「使える計画」にする必要があると思うがどうか。

答 総務課長

地域防災計画のほか、災害対策本部が機能するまでの間、応急対策の初動業務を行うことを目的とした「災害対策行動要領（初動マニュアル）」があり、災害時に優先的に進める行政業務の特定と、その対応手順等を定めた「業務継続計画（BCP）」がある。

地域防災計画を基盤とし、これらの要領等を「使える計画」にするた

め、訓練・検証していくことが大規模災害に対応するのに大切なことであると考えている。

問

地震が発生したら、各職員が、自分の置かれている状況を理解し、何をしたらいいのか瞬時に判断して行動できるようにするため、どのような取り組みをするべきか。

答 総務課長

各課・各係で、受け持つ事務の災害時対応を日頃から話し合っておくことが重要。

また、各種要領等を基に、想定される事案の対応策を、発災時から順を追って検討しておくべきである。

ある。





岡田 浩二
議員



サービスを担う職員の状況と人材育成

問 少子高齢化により労働人口が減少する中、地方自治体の人材育成は、今後複雑化する課題に対応し、的確な行政サービスを提供していくために急務である。優秀な人材確保のため、職員定数と最適な職員配置について、また、職員定数最適化の評価と見直しがされているか、その状況を伺う。

答 総務課長 職員定数条例では、136人、現員は105人であるが、不足しているとは一概には言えない。不足をしている場合は、職員の最適化を図るために会計年度任用職員制度を活用し最適化を図っている。

いる。

職員最適化の評価と見直しは、類似団体との比較を基本として考えたい。団体それぞれの事情もあり単純な比較は難しい。

問 サービスの質、生産性の高い組織体制とするための、職員の能力開発の仕組みがあるのか。

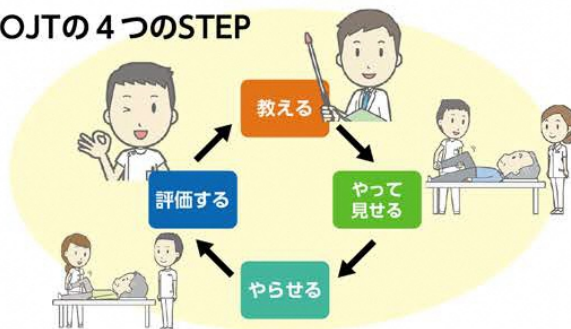
答 総務課長 また、職員のモチベーションなどを把握する仕組みがあるのか。

職員能力開発には、組織として取り組んでいる。各課の専門性を高めるために、国や県主催の研修を含め積極的に参加している。職務の遂行上必要

となる知識、技能、態度などの習得を目的とした「OJT研修」が大切だと考えている。

また、職員のモチベーション把握については、各課の課長が仕事の進捗や量などの相談にのる機会を持ち、業務に対する意識やモチベーションの把握に努めている。ストレスチェック分析を毎年度実施し、職員の心の健康を支えている。

OJTの4つのSTEP



コロナ禍における行政サービス

問 「Sアラートシステム」運用を開始した。より正確な情報により早く住民に周知する役割を果たすはずの防災無線が住民の満足に繋がっていない。運用開始以降、町に対し具体的な不満の声や従来の個別受信機を再貸与した世帯はあるのか。

答 総務課長 屋外のスピーカーの音声が聞こえない等の住民の声があった。個別受信機の再貸与世帯は、59世帯ある。

答 総務課長

投票所を集約することについて、投票区内の人口減少に伴い、投票立会人の確保が難しくなってきたことが一番の原因だった。しかし、投票所を集約することで、投票所区内の有権者が増え、立会人の確保が容易となり問題の解決に繋がった。最近では、期日前投票所で投票する方が多くなってきた。また、投票所を集約した地区へは、期日前投票所への送迎車を用意したが利用者はいなかった。

問 4月23日執行の一般選挙から投票所の集約が行われた。集約を行うことで従来の課題が解決することであった。今回の集約で問題解決に繋がったのか。





浅尾もと子
議員



選挙結果の受け止め

問

中日新聞は村上町長の再選について「多くの批判票が投じられた結果に村上さんは『十分に意見交換できなかったことは反省し、町民との対話に努めたい』と語った」と報じた。また、朝日新聞は「村上氏は他の2氏が地域医療を争点にする中『過去の選挙で決着済み』と強調」と報じた。

答

町長

①町長は選挙後も、町の医療問題を決着済みと考えているか。
②「反省」を口にした町長は、町民との対話はどう具体化するのか。

①選挙の争点とされてきた課題は一応の解決を見た。大変な騒動になり、一部に反対はあったが、議会をはじめ町

命を守る医療体制を

問

東三河北部医療圏には小児救急病院がなく、子どもたちは豊川市民病院や豊橋市民病院に搬送される。安心して子育てできるのか。県は、保健医療計画に「新城市民病院に小児科医を複数配置し、救急対応を可能にすることが必要」と書いている。計画の実現を呼びかけてもらいたい。町長には、新城以北に小児救急病院が必要だ

民の皆様の良識ある判断で方向が決まり、町の一次医療を守ることができた。

②コロナ禍の収束を注視しながら、地区懇談会、キャッチボールトーク、町長室開放など、初心に帰って具体化していく予定でいる。

東三河北部医療圏には小児救急病院がなく、子どもたちは豊川市民病院や豊橋市民病院に搬送される。安心して子育てできるのか。県は、保健医療計画に「新城市民病院に小児科医を複数配置し、救急対応を可能にすることが必要」と書いている。計画の実現を呼びかけてもらいたい。町長には、新城以北に小児救急病院が必要だ

答

町長

という認識はあるか。

必要性を否定するわけではない。新城を中心に、北設3町村が一緒になって今後も県に要望していきたい。



小児・周産期の救急医療を担う豊川市民病院（正面）

問

医療圏内には出産できる病院がない。出産するには、豊川市民病院などへ行くが、早産や合併症、高齢出産などのハイリスク分娩は、豊橋市民病院まで行かなければならない。

町の出生数は昨年度6名だった。周産期医療の過酷な状況が出産を断念する要因になっていないか。県の計画には「医療圏内に分娩を扱う医師及び医療機関の確保が必要です」とある。分娩を扱

町の出生数は昨年度6名だった。周産期医療の過酷な状況が出産を断念する要因になっていないか。県の計画には「医療圏内に分娩を扱う医師及び医療機関の確保が必要です」とある。分娩を扱

答

町長

う医療機関の設置を県に求める考えはないか。

おっしゃるとおりで、そのように努力するが、要望するだけでは解決しないことを理解してほしい。

町長の公約の実現を

問

町長の公約の具体化に向けて何う。

①「お達者タクシー助成制度検討」の概要は。

②「保育料・小中学校給食費の無償化の検討」の予算額と実現時期は。

答

福祉課長

①75歳以上の自動車免許を所持していない方のうち、高齢者のみの家庭で、福祉タクシーを利用できない方の通院や買物などに、予約バスなどを補完する制度の創設を検討したい。
②保育料の無償化に必要な予算は約300万円。国の動向を見て検討していく。

答

教育課長

問

町は、のき山学校の耐震化で本格的な「稼げる施設」を目指す。基本設計の概算事業費は1億5,255万円。実施設計が完了している。町は「稼げる施設」とする試算や見通しを示さず、町民が納得できる説明も行っていない。

のき山学校の耐震化

問

町は、のき山学校の耐震化で本格的な「稼げる施設」を目指す。基本設計の概算事業費は1億5,255万円。実施設計が完了している。町は「稼げる施設」とする試算や見通しを示さず、町民が納得できる説明も行っていない。

答

総務課長

①事業の進捗、財源、収益額の試算を何う。
②事業計画を周知し、町民の意見を計画に反映させる考えはあるか。

②給食費の無償化は、児童生徒の保護者への感謝の気持ちや、給食を大切にすることを育みたいという教育上の願いから、現時点で計画していない。無償化の予算は約840万円。



西谷 賢治
議員



町の財政が悪化している中、町の所有する建物等の有効利用に向けた取組について

問 町に譲り受けた預り測りキャンプ場跡と敷地内のログハウスを早期に観光整備すべきと考えるが、今後の検討計画を伺う。

答 経済課長

寄付を受けた預り測りログハウス周辺には観光スポットとなり得る素材が多く、観光及び経済団体と共同で活用計画を考えるとともに預り測りと一緒に活用計画を進めていきたい。

答 経済課長

問 旧東栄小学校跡について、再利用の検討の可能性があるのか。

旧東栄小学校は古い建物であり、各所で漏水もしていると聞いている。それについて検討するというより難しい状況だと思ふ。

問 本郷関谷邸は長らく放置されているが、活用することを前提とした作業部会などを立ち上げて利用するような計画があるのか伺う。

答 総務課長

現在、町のホームページで利用方法を募集している状態だがなかなか応募が無いのが現状である。現在のところ作業部会を立ち上げて利用する計画はない。

問 旧東栄小学校校舎は耐震化が完了しており、再利用可能だと思ふため、有効利用する検討を協議していくべきと思うが執行部の考えを伺う。

答 総務課長

旧東栄小学校は耐震化は出来ているが、修繕には多額の費用が掛かることもある。校舎の解体を望まれる声も出ており、解体工事の設計予算を計上している。



旧東栄小学校

子育て支援について

問 近隣町村も支援拡充している。町内高校生の通学に関わるバス代を無償化する考えはないのか伺う。

答 教育課長

現在年間通学費の半分相当額を補助しているが、現在のところ補助額を変更する予定はない。

医療体制の再編について

問 療養入院に該当する入院・一時預かりを、診療所とやまゆり荘・緑風園等と調整して看護師の元で療養できる体制を構築する事は可能なのか伺う。

答 福祉課長

医療機関に病床を持つことが必要となってくる。平成30年3月策定の東栄医療センター施設整備基本構想基本計画を策定する際に検討されていたが、病床や介護による入所や短期入院、その他の入所等について設置を断念してきた経緯があるので、人員面、設置費、運営費の面で困難であると思う。

問 救急について佐久間病院との協議は出来ているという事なので、その搬送について新消防署との連携相談は出来ているのか伺う。

答 総務課長

救急搬送については新消防署東栄分署とも話しているが、救急救命士が最善の医療機関に搬送するよう対応している。佐久間病院へ運ばないというわけではない。

問 老朽化した産業会館の解体整理を可能にする為、森林組合の事務所機能の移転先と成り得る場所を検討すべきと考えるが、どの様に進める予定か伺う。

答 経済課長

森林組合の移転先については森林組合が決めることなので、回答は差し控える。



村本 敏美
議員



上水道について

問 令和元年には、加
入者3,063人、
使用料が6,128万円
である。最も新しい数値は、

答 建設課長

令和4年で2,805
人、5,509万円である。

問 有収率が低い原因
は。

答 建設課長

漏水が大きな要因。供
給量に対し管路が長く過
疎地域特有である。

問 漏水検査は行っ
て
いるか。

答 建設課長

業者が年1回、職員が
年数回行っている。

問 「簡易水道管路更新
計画」の進捗状況は、

答 建設課長

現在は、水供給の根幹
となる浄水場への導水管

の更新を行っている。配
水管等は管路が長いので、
長期的な計画で行う。

問 4月に本郷地区で
漏水事故があり、
一部が断水した。本管は
何年頃埋設したか。

答 建設課長

昭和48年に設置した。

問 同年代に埋設した本
管はまだどのぐら
いあるか。

答 建設課長

40年以上経過した配水
管は10km。耐震性能を有
する管も埋設してある。

問 浄水場施設の耐震
化は進んでいるか。

答 建設課長

現在、特に
異常はない。
計器の異常や
故障が出てお
り、計画的に
更新して行く。



中設楽浄水場

問

計画に基づき、着
実に進めていただ
きたい。町民の方から以
下の様な思いを聞いた。
「医療サービスも透析と
か、入院とか、切り取っ
て尋ねられれば大切と答
えるが、併せて介護も福
祉も大切と考える。日常
生活の維持には、道路、
上下水道、交通、買物、
子育て、教育といった生
活インフラの確保の方が
むしろ大切かもしれない
とも考えている。水道が
止まり、毎日給水車まで
ポリタンクを提げて往復
することなど想像したく
もない。」

答 町長

町長に感想を伺う。
おっしゃるとおりと思
う。災害状況を踏まえ、
水道の問題は日常である。
365日対応という状況
は認識している。厳しい
財政状況の中で計画を立
て必要とあるものは進め
ていきたい。

福祉タクシー ンについて

問 町では交付要綱に
基づき申請をした
該当者に福祉タクシー
ン券を交付している。その人数は、

答 福祉課長

該当者は364名とな
る。交付を受けた方は、
5月末で24名となっている。

問 券を使用されない、
また予算を使い切
れなかった場合は過去に
もあるか。

答 福祉課長

不用額も出ている。使
い切れなかった部分もある。

問 高齢で自動車免許
の更新ができない、
また返納され町内の医療
機関に通院する事が困難
な高齢者に要綱第2条の
(6)(※)を使って交付を
することはできないか。

答 町長

福祉タクシーン券は制度
を設けている。この中で
救えるかどうか見定めて
対応していく。
※要綱第2条(6)
その他特別な理由により町長が
必要と認める者。

訪問理美容 サービスについて

問 県内でこのサービ
スが行われている
自治体があるか。

答 福祉課長

名古屋市を始め27の自
治体で実施している。

問 東三河8市町村で
は、田原市と豊川
市で実施している。東三
河広域連合で介護保険事
業を行っている。執行側
の一人として理美容サー
ビスを取り入れていた
きたいと思うがどうか。

答 町長

二つの自治体の制度も
確認をし、私どもの地域
でも一度検討していきたい。

緊急通報システム について

問 設置費・器具使用
料の半額は町の負
担、半額は本人負担1、
400円、年金暮らしで
は大きいと思う。安否確
認する装置で安価なもの
はあるか。

答 福祉課長

現在色々なシステムが
ある。この制度も10年
になる利用者に合ったもの
を検討していく。

議員で研修・視察を行いました

6月2日に「第一法規」を講師に招き、「新人議員のための法令・条例の読み方」についての自主研修を行いました。

議員は、議会に上程される議案（条例や予算など）を審議するために、法令や条例など法務についての知識や理解が必要です。



地方議会の役割には、①**住民の意思を把握し、反映する機能** ②**執行機関の活動を監視する機能** ③**政策を立案する機能**という3つの機能があり、議員は議案を確実に点検し、議決する役割を担うことになります。そのため議員には、法令・条例を「読み解く力」が大切となります。

6月15日の議会終了後、西園目のログハウスを視察し、総務課と経済課の担当者から説明を受けました。民間の施設を町が譲り受けた形ですが、町としてその施設をどう活用するかについて、議員で視察・調査しました。施設の保存状態もたいへん良いため、隣接する預り洲の開発を合わせて行うことで、町の新たな観光資源となることが期待されます。



6月										5月							4月													
26	24	22	20	19	15	14	12	9	7	2	31	30	29	26	24	23	20	19	18	15	13	11	1	24	12	10	7	6		
北設楽郡防犯協会定期総会 議会運営委員会 議員研修会 議会本会議（開会） 議会一般質問 議会常任委員会 東栄町シルバー人材センター総会 議会本会議（閉会） 議員視察										東三河広域連合議会全員協議会 愛知県町村議会議長会・理事会 愛知県植樹祭 全国町村議会議長研修会 例月出納検査 北設楽郡正副議長会 浜松湖西豊橋道路建設促進期成同盟会 議会運営委員会 東三河広域連合議会臨時会							議会臨時会 臨時北設楽郡議長会 就任あいさつ回り （社）東栄町観光まちづくり協会お披露目会 議会運営委員会 東三河広域連合議会 愛知県町村議会議長会・理事会 愛知県植樹祭 全国町村議会議長研修会 例月出納検査							東栄小学校入学式 東栄中学校入学式 議会報編集委員会（142号） 議会報編集委員会（142号） 例月出納検査						

議会活動報告

編集委員紹介

編集委員会

委員長：佐々木一也

副委員長：西谷 賢治

委員：岡田 浩二

櫻井 孝憲

発行責任者

議長：加藤 彰男

9月定例会の予定

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もあります。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。
(電話：0536-76-0505)

9月 8日(金)	本会議（開会）
9月 11日(月)	本会議（一般質問）
9月 12日(火)	決算特別委員会
9月 14日(木)	常任委員会
9月 20日(水)	本会議（閉会）



とうえい議会だよりは、環境に優しい
植物油インクを使用しています

発行／東栄町議会・議会だより編集委員会

〒449-0292 愛知県北設梁郡東栄町大字本郷字上前畑25 ☎0536-76-0505